

資料 2

■ 平成26年度 大阪府債発行計画(案)

(単位: 億円)

資金区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
市場公募債	10年	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2,400	5,700
	5年	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2,400	
	2年	100		100		100		100	100	100	100	100	100	900	
銀行等 引受債	証券		100		100		100		100		100		100	600	1,800
	証書	1,200 ※借入予定月(5月、7月、9月、11月、1月、3月)												1,200	
共同発行債		10年 800												800	
フレックス枠		1,200												1,200	
合 計														9,500	

◆発行計画の考え方(26年度当初予算財務部長内示ベース)

1. 発行総額: 9,500億円 [(A) + (B) + (C)]

- (1) 25年度分 新発債(出納整理期間内発行分) 379億円 … (A)
- (2) 25年度分 新発債(未収繰越分) 122億円 … (B)
- (3) 26年度分 発行必要額 9,814億円【新発債: 3,940億円(うち臨財債2,800億円)、借換債: 5,874億円】
 - ①26年4月～27年3月発行予定 8,999億円 … (C)
 - ②27年4月～5月(出納整理期間)発行予定 815億円

2. 資金区分

- (1) 変動利付債等額(発行額の10%程度) 9,500億円 × 10%程度 = 950億円程度
 - ①市場公募債(2年) ⇒ 900億円
- (2) 共同発行債(持寄額上限) ⇒ 800億円
- (3) フレックス枠 ⇒ 1,200億円
- (4) ①市場公募債(10年) ⇒ 2,400億円
 - ②市場公募債(5年) ⇒ 2,400億円
- (5) 銀行等引受債 9,500億円(総額) - 7,700億円((1)～(4)計) = 1,800億円
 - ①証券方式 5年 ⇒ 600億円
 - ②証書方式 ⇒ 1,200億円

平成26年度
単年度平均調達期間(見込): 8.01年